

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ



題字 黒野清字

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 西川豊長
 幹事 中山信夫
 会報委員長 西尾正巳

No. 30

築け未来を 行動力と先見の眼で

BUILD THE FUTURE WITH ACTION AND VISION

1996~97年度 RI会長 ルイス・ピセンテ・ジアイ

きょうの例会

第701回 平成9年2月18日(火)

“新世代のためのロータリー会議”報告

先週の記録

第700回 平成9年2月4日(火) 晴

立春会 (於: 醫王寺)

◇ “我等の生業”

◇ 出席報告

会員 69名 出席 33名

出席率 47.83%

前々回 1月21日(修正出席率) 100%

◇ ビジター数紹介 183名

◇ ニコボックス

水野 民也君 立春大吉

西川 豊長君 福は内 福は内

吉田 敬岳君 ようこそ当山へご来寺下さいました。ご縁を結ばせていただき感謝します。

足立 一成君、秋山 茂則君、在田 忠之君、

二村 聡君、釜谷 健一君、河村 政孝君、

小林 明君、小杉 啓彰君、小山 雅弘君、

松居 敬二君、宮尾 紘司君、三好 親君、

水野 賀禎君、西野 英樹君、西尾 正巳君、

大口 弘和君、大谷 和雄君、尾関 武弘君、

佐久間良治君、鈴木 正男君、鈴木 理之君、

田部井良和君、竹内 眞三君、田中 昭二君、

谷口 優君、舎人 経昭君、鷺野 義明君、

吉田 節美君 吉田敬岳君、本日は立春会よろしくお願ひいたします。

(1/28分)

名古屋東山RC 古川 翹会長 来る3/25の

認証状伝達式には多数の皆様のお参加を切に

お願い申し上げます。会員一同、心よりお待ち

申し上げます。

秋山 茂則君 何も浮かばぬうちに始まりま

した。

水野 民也君 耳をはじくって聞きます。

佐野 寛君 丸善画廊で金青会展を30日から開催します。

津牧 孝臣君 中根さんありがとうございます。

林 哲央君、林 敏彦君、伊豫田博明君、

河村 政孝君、菊池 昭元君、小杉 啓彰君、

松居 敬二君、三輪 康君、宮尾 紘司君、

水野 宏君、水野 賀禎君、永井 正義君、

中井 常雄君、中根 三郎君、中山 信夫君、

西尾 正巳君、大口 弘和君、佐久間良治君、

鈴木 正男君、鈴木 理之君、田中 昭二君、

魚津 常義君、和田 正敏君、渡辺 辰夫君、

吉田 節美君、吉田 玄君 千種消防署の

小川署長をお迎えして

足立 一成君、在田 忠之君、釜谷 健一君、

西川 豊長君、鷺谷 龍男君 誕生日祝い

加藤 大豊君、小山 雅弘君 夫人誕生日祝い

青山 敏郎君、菅原 宣彦君 結婚記念日祝い

◇ 鈴木(理)副幹事報告

1. 2月15日(土)新世代のためのロータリー

会議にご出席されます方は、名古屋市中区

役所ホールB2 13時よりお間違いのないよう

お願い致します。

◇ 佐久間君会葬御礼

先日は母の死去に際し寒い中、多数の皆さま

に御会葬賜り、誠に有難うございました。

◇ 小杉職業奉仕委員長挨拶

本日は、当クラブ恒例となっております節

分会と職場例会を兼ねまして、昨年新築され

ましたここ醫王寺の御住職でもあります吉田

敬岳君にお願ひし、会員の皆様とご家族の健康、

並びに御仕事の御繁栄を祈願していただきます。

「節分」を辞書をひきました所、「季節の変わり目、

立春、立夏、立秋、立冬の称、せちぶん」とあり、

更に「特に立春の前日の称、この日、

いわしの頭を柁の小枝に刺して戸口にさし、

炒り豆をまいて悪疫退散、招福の行事

を行う風習がある」と書いてありました。

季節の分かれ目である立春、立夏、立秋、立冬の前日が節分であり、いつの頃からか立春の前日の節分だけが強調されるようになって、その日が一年の境目と考えられるようになったようでもあります。

又、節分の夜、豆撒きをされる風習は、室町時代から始まったようでして、中国から伝わった追儺の儀式に由来されると考えられており「鬼やらい」ともいい、疫病や災害を、追い払う行事で、中国では、紀元前三世紀の秦の時代には行われていたそうです。

とにかく、一日も早く暖かい春が訪れることを心待ちにしまして、ただいまより行事を始めさせていただきます。

◇西川会長挨拶

本日は、この落慶もない醫王寺において、吉田敬岳君、職業奉仕委員会の御世話により立春会職場例会を開催することができまして、本当に有難うございます。また、会場の設営、夕食会の準備などにつきましても、お寺の方々、会場設営委員会、親睦活動委員会など沢山の皆様のお世話になりまして、心より感謝申し上げます。

皆様ご承知のとおり、昨日が節分、一夜明けて今日は立春であります。暦の24節気の説明によりますと、立春、立夏、立秋、立冬は四立といって四季の転換を表示し、立春は「春の氣始めて立つ」というのであります。とはいえ、寒さは目下ピークでありまして、春は名のみであります。本日は、特に風も冷たく、夜分を沢山の会員の方々に参加頂きまして、まことに有難うございました。

今年の旧暦1月1日は、2月8日ですので、正月より先に春が来たことになります。こういう年は、昔はめでたい年だといって喜んだようでもあります。

年のうちに春はきにけり

一とせを去年とやいわん

今年といわん (在原元方、古今集)

さて、ひるがえって世の中をみますと、今年もペルー人質事件、日本海重油流出、インフルエンザの大流行、さては株安円安など、もろもろの災難が次々と起っています。誰しもが祈りの気持ちを持たずにおれない世の中です。

本夕、この真新しい本堂で、真言密教の法による加持祈禱をあげて頂けるのはまことに有難く、これもロータリーなればこそと思います。どうか今年も、わが千種ロータリークラブがますます繁栄しますように、会員の皆様におかれましては、災難にあわれませぬようにお祈りしたいと思います。

冬去りなば春遠からじ、一陽来復、春のこ

ない冬はない、といえます。どんな災厄にあっても、前途の光明を信じて頑張って生きてゆきたいと思います。本日はどうも有難うございました。

立 春 会

◇吉田(敬)法話

「祈り」考

丑田さんという今年100歳になられるお坊さんがいます。八事山興正寺の長老です。この方は、高野山で三年もの修行をおえて、八事山に帰ってから今日までじつに80年以上、毎朝、本堂で護摩を修しておられます。一日も欠かさずです。一回二時間以上かかることで、すから、なかなかできることではありません。

この丑田さんが、ある時、こんな事を話されました。

「自分は毎日、毎日祈ってきた。いろいろな願いをもって祈り続けてきた。それらの願いは祈ってすぐかなえられるということはなかったが、気が付くと、いつの間にかかなえられていた。祈りというのは、こういうことなんだと思う」

『困った時の神頼み』といいますが、私たちは何か手に負えないようなことが生ずると神を頼み、仏にすがります。仏ほっとけて平素は知らん顔をしていて、都合のいい時だけ神仏頼みではいかがでしょうか。神を畏怖れ、仏に救いを求める。立春大吉。季節の節目に祈るという事は、人知を超えた存在を感じながら日々を過ごすことの大切さを改めて考えることでもあります。会員各位の諸々の願いが適えられることをお祈りします。 合掌



立春会に参加して

在田 忠之君

早春の気持ちよく心身の引き締まる寒さの中、醫王寺で催された立春法要に参加させて頂きました。円安、株安、消費税アップの不透明な経済情勢の中、私自身今年には厄年ということもあり、楽しみにしておりました。

吉田住職は前日の節分の深夜にすでに2時

間の法要の前段を済ませていただいたとのこと。当日は舎人さんほか3人の方が大声でお経を唱えて経本をマジックさながらに次々と操っていかれる中、祈願を込めた護摩を焚いていただく一大パフォーマンスの後、一人一人清めの香を塗って五銛を吉田住職から授かり祈禱していただきました。同時に経本を背中に押し当てられ、すっかり厄などどこかへ一掃された様なあらたかなる気分となり、大変充実した1時間でありました。

その後の食事会では酒肴を前に会長の挨拶も耳に入らず、楽しい一夜を過ごしました。春遠からじと、来年の立春会までこの一年やっていきたいと思えます。

麻雀会

(於：松楓閣 1/28(火))

平成9年新春の打初めは、1月28日(火)午後6時より、松楓閣で盛大に開催。参加者は12名(3卓)で大変なごやかに交歓の実をあげました。成績は次の通り。

RANK	NAME	MARK
優勝	山本 眞輔	+62,100
2位	松居 敬二	+26,100
3位	林 哲央	+18,800
B B	成田 良治	-53,900

次回は3月14日(金)を予定しております。多数の方の参加をお待ちしております。

◇1月度理事会議題

1. 1996～97年度上半期決算報告の件
2. 1997～98年度各委員会(正・副)委員長、委員の件
3. 3/25(火)理事役員会の件
4. 日本海重油流出事故災害救援金の件

◇例会変更のお知らせ

- 名古屋錦RC 3/4(火)名古屋名北RCと合同例会の為、ナゴヤキャッスルにて
- 名古屋和合RC 3/5(水)名古屋守山RCと合同例会の為、3/6(木)名古屋都ホテルにて12時半より
- 名古屋名北RC 3/5(水)創立16周年記念及び名古屋錦RCと合同例会の為、ナゴヤキャッスルにて
- 名古屋港RC 3/7(金)新世代会議開催の為、3/9(日)名古屋国際会議場にて
- 名古屋空港RC 3/10(月)夜間例会の為、キャッスルプラザにて18時より
- 名古屋昭和RC 3/10(月)I.M.の為、ナゴヤキャッスルにて16時より
- 名古屋名東RC 3/11(火)名古屋第二分区I.M.参加の為、3/10(月)ナゴヤキャッスルにて16時より
- 名古屋錦RC 3/11(火)名古屋第二分区I.M.全員登録の為、3/10(月)ナゴヤキャッスルにて16時より

◇次回例会(2月25日)

ルブラ王山にて12時30分より

次期ガバナーノミネーに内藤氏が決まりました



ないとう あきと
内藤 明人
(本名 内藤 進)

大正15年3月29日生
名古屋西ロータリークラブ
シニアアクティブ
(ガス器具製造)
リンナイ株式会社
代表取締役社長

<最終学歴>

昭和23年 東京大学(工学部)卒業

<職歴>

昭和23年 株式会社 林内製作所入社
昭和41年 同社 取締役社長に就任
(昭和46年 社名をリンナイ株式会社に変更)
昭和47年～昭和56年 社団法人日本ガス石油機器工業会 会長
昭和49年～昭和52年 中部経済同友会 代表幹事
昭和59年～平成7年 名古屋中小企業投資育成株式会社 代表取締役社長

<団体職歴>(現職)

昭和37年 名古屋青年会議所 理事長
昭和38年 日本青年会議所 副会頭
昭和62年 名古屋日豪ニュージーランド協会会長に就任
平成2年 名古屋駐在ニュージーランド国名誉領事に就任
平成6年 社団法人中部産業連盟 会長に就任
平成6年 日本貿易振興会運営審議会委員に就任
平成7年 名古屋証券取引所 理事に就任
昭和56年 名古屋商工会議所副会頭に就任
～平成8年(昨年12月に退任)

<受賞>

昭和46年 科学技術庁長官賞
昭和50年 紫綬褒章
昭和61年 藍綬褒賞
平成8年 勲三等旭日中綬章

<ロータリー歴>

昭和38年 名古屋西ロータリークラブ入会
昭和42年 幹事
昭和57年 会長(理事)



2月23日は 世界理解と平和の日

地区国際奉仕委員会
委員長 吉村 卯一郎

ポール・ハリスが1905年2月23日に他の3人と一緒に第1回の会合を開いたのを記念して、RI理事会では毎年2月を「世界理解月間」に指定しております。

そこで各クラブは同期間中、世界平和に不可欠なものとして、理解と親善を特に強調するクラブプログラムと活動を実施し、国際奉仕に焦点を合わせて世界社会奉仕(W・C・S)を中心として青少年交換、ロータリー財団等のプログラムを活用して、国際理解と友好親善の増進に役立つ活動を行うように奨励されております。

世界の人々は、各国の人々とお互いに理解と交流を深めたいと思いつつも、国、人種、言語、宗教、習慣等の違いにより、意の如くならないのが現状であります。

ところで第2770地区の田中作次(パスト・ガバナー)はかつて次のようなことを言っておられました。すなわちロータリアン1人ひとりが「世界理解」のために、あまり大きなことはしなくても、小さなことの積み重ねが大きな成果を生むのだ、そういう確信をもってこの「世界理解月間」を楽しみましょうと。

さてW・C・Sの目的は世界の平和、人類の幸福であります。地球上の人口は56億人でこの中で1/3が子供です。そして56億人のうち30%位は食べ物に満足しているが、30%位は空腹を抱え、40%位は飢餓にあえいでいます。結局20億人以上の人が飢餓や病気や非識字に苦しんでおり、一方世界の富の80%を20%の人が独占しているのであります。そこにW・C・Sの活動の意義があるのではないかと思います。そして社会奉仕部門を国際奉仕部門に重ねたのがW・C・Sであります。

当地区のW・C・S活動は世界有数の活発な地区として認められております。そしてドネーションの総金額および対象プロジェクト数は国内地区のトップクラスであり、全世界地区でも屈指の“W・C・S活動地区”となっております。毎年フィリピン、タイ両国への訪問旅行を行って、援助資金の交付をし、友好と親善と更なる理解を深め合う努力をしております。本年度も'97年2月に両国を訪問いたしますので、多数のご参加と積極的なご支援をお願いする次第であります。

又、当地区の青少年交換委員会では毎年交換学生の派遣、受入れを行っておりますが、本年度より派遣国の範囲を広げて従来のアメリカ、カナダ、オーストラリアの三国の外に、ブラジル、フィンランドの二国を加えて5ヶ国といたしました。理解と交流、そして友情を深める先兵として、各委員の方々が交換学生の選考と決定に努力を重ねて、優秀な学生を1年間海外へ派遣しております。又、相手国からも学生を受入れて、地区の家庭でホームステイをして理解と親善を深めております。

前述の通り2月23日は最初のロータリークラブの会合が開かれた創立記念日であり“世界理解と平和の日”に指定されております。ロータリアンはこの“世界理解月間”に思いを新たにして、国際奉仕の目標とする活動を積極的に行って頂きたいと思っております。それは他国の人々、その文化、習慣、業績、抱負などの諸問題を知ることであり、また旅行や国際大会への出席による個人交流であり、読書や文通であり、更には他国の人々に役立つクラブの活動や、プロジェクトすべてに協力することであり、